

灯



の温泉も、まちづくりをさらに進化させる必要がある。

また、海外の旅行ガイドブックなどでもっと取り上げてもらうことも必要だと思う。星の数で評価する代表的なガイドブック「グリーン・ミシュラン」では、大分県は別府(☆)が2☆、湯布院(☆☆)が3分の1☆掲載されているにすぎない。鹿児島が5☆、熊本・阿蘇が6☆割かれているのと比較しても少ない。

最近、海外からの観光客をどう誘致するか、という話になることが多い。例えば、中国人の宿泊客数(平成21年中)は、わが国全体では延べ258万人だが、このうち大分県での宿泊は6790人と意外に少ない。

誘致を進める一つの方策としては、やはり温泉にリハビリ施設や人間ドックなどを併

海外観光客の誘致



大政 浩一

ても、ミシュランのように星の数で評価するようなガイドブックが欲しいと常々思っている。やむなくインターネットを見て店を探しているが、客観的な評価をもとにしたグルメ雑誌が大分でも出版されることを期待している。

設することにより、アジアの保養地としてアピールすることがよいのではないかと思う。この前、由布院のまちづくりのもとになったドイツの温泉保養地についてあらためて調べてみたが、温泉プール、リハビリやセラピーの施設、劇場、カジノなどが一段と充実していた。大分

(日本銀行大分支店長)